

医療情報標準化推進（HELICS）協議会

2015 年度事業計画

1. 理事会および審査委員会：

標準化指針の審査：申請された指針案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて検討し、「医療情報標準化指針」としての可否を審査する。

2. 標準化委員会：

(1) 各団体から申請された指針について、迅速に審査が行われるように審査委員会のメンバーの調整を行う。標準化委員会を定期的を開催し、標準化の現状について調査するとともに、本協議会の長期的な標準化方針の策定。標準規格の提案勧告などを行う。

(2) すでに採択した標準化指針について、必要に応じて更新申請を行うよう指導する。同時に、すでに HELICS 指針となっている規格のレポートを毎年更新するように指導する。また、その後の運用などに問題がないか検討する。

(3) 標準化の必要性がありながら標準化の策定が着手されていない分野を調査し、標準化を推進する方法を検討し、必要に応じて、関連する団体に働きかけを行う。

(4) 医療情報標準化推進協議会の体制、規則等の見直しを検討する。

(5) 広報委員会と連携し HELICS 指針の普及推進を図る。

3. 広報委員会：

(1) 情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」をホームページ上に掲載する。また、HELICS 協議会のホームページを整備し、HELICS 指針の解説としての標準化レポートを掲載して、標準化活動の推進と啓蒙に努める。

(2) 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催

HELICS シンポジウムを医療情報学会時に開催する。

- (3) HELICS 指針の普及推進を標準化委員会と連携して行う。
- (4) ホームページの整備を引き続き行う。標準規格を採用することのメリットをより分かりやすく訴えていくことが必要となっている。
- (5) 必要に応じて、HELICS ニュースを発行する。

4. 委員会の開催

- (1) 標準化委員会 4回／年を予定。
- (2) 広報委員会 4～5回／年を予定。
- (3) 審査委員会 必要に応じて開催予定。
(標準化指針が申請数による)

HELICS協議会
2015年度(平成26年度)収支予算書 (2015.4.1～2016.3.31)

2015. 07. 10

1 収入の部 (円)

科 目	2014年度決算	2015年度予算	備考
1.財産運用収入	0		
2.会費収入			
正会員	150,000	150,000	5万円×3団体
幹事会員	600,000	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0		
4.雑収入	530	500	受取利息
小計	750,530	750,500	
前年度繰越金	3,475,838	3,475,838	
当期収入合計	4,226,368	4,226,338	

2 支出の部

科 目	2014年度決算	2015年度予算	備考
1.事業費			
理事会・総会費	0	250,000	理事会・総会会場費、旅費
シンポジウム	58,040	350,000	講師旅費など
標準化活動	26,390	150,000	会議費・旅費
広報活動	5,064	200,000	会議費・旅費、HELICSニュース、パンフレット
審査委員会	68,910	100,000	会議費・旅費など
2.管理費			
印刷費	0	100,000	資料等コピー代
消耗品費	0	10,000	事務用品代
通信運搬費	0	2,000	切手、郵便代
雑役務費	3,364	6,000	振込手数料、事務局経費
3.予備費	56,700	20,000	
小計	591,530	1,188,000	
未払金	0		
次年度繰越金	3,475,838	3,038,338	
当期支出合計	4,067,368	4,226,338	